

2020年8月24日
日立 ABB パワーグリッド社

日立 ABB パワーグリッド社とルノーグループが蓄電技術で スマートアイランド計画における使用済み EV バッテリーの効率的な活用を実現

日立 ABB パワーグリッド社(CEO: Claudio Facchin(クラウディオ・ファキン))は、ルノーグループと協力し、ポルトガル共和国政府がポルト・サント島で推進する「スマートアイランド計画」において、使用済みの電気自動車(以下、EV)バッテリーを用いた蓄電ソリューションによる余剰電力の効率的な活用を実現しました。具体的には天候により発電量が変動し、その予測が難しい太陽光や風力といった再生可能エネルギーの余剰電力を、日立 ABB パワーグリッド社の蓄電ソリューションにより、耐用年数をむかえた EV バッテリーに充電し、グリッドに連系することで、エネルギーの効率的な活用を支援していくものです。

「スマートアイランド計画」は、マデイラ諸島の東北端に位置する人口約 6,000 人のポルト・サント島を、再生可能エネルギーの導入拡大などにより、世界初のカーボンフリーアイランドにすることを目標としたプロジェクトです。

ヨーロッパ最大の EV メーカーであるルノーグループは、V2G(Vehicle to Grid)技術に基づく EV ソリューション、EV やバッテリーから提供される電力を柔軟に制御するためのアグリゲーションプラットフォームなどを含めて、持続可能なエネルギー転換に向けたプラットフォームをポルト・サント島に提供してきました。EV バッテリーは、耐用年数に達すると、廃棄、リサイクル、または再利用されますが、耐用年数を過ぎた使用済みバッテリーでも当初の容量の 70~80%を維持している可能性があります。

そこで、日立 ABB パワーグリッド社はルノーグループと協力して、使用済み EV バッテリーを再活用することで、再生可能エネルギーのグリッド連系に貢献します。

日立 ABB パワーグリッド社ハイボルテージビジネスユニット担当役員である Markus Heimbach(マルクス・ハイムバッハ)は、「当社の蓄電ソリューションは、ポルト・サント島における重要なエコシステムの一つとして、島の風力と太陽光の有効活用に貢献します。本プロジェクトもまた、より強じん、よりスマート、よりクリーンなグリッドを実現するためのパートナーとして選ばれ、持続可能な社会の実現に貢献するという当社の掲げる目標を体現する事例の一つです。」と述べています。

ルノーグループでセカンドライフバッテリー事業のプロジェクトマネージャーを務める Yasmina Badreddine(ヤスミナ・バドレディン)は、「ルノーグループの使用済み EV バッテリーを、日立 ABB パワーグリッド社の蓄電ソリューションと統合することで、島の再生可能エネルギーによって発電された余剰電力を貯蔵することができます。これにより、バッテリーに蓄えられた電力は、電力需要が増えた際に、スマートにグリッドに連系することができます。」と述べています。

■日立 ABB パワーグリッド社について

日立 ABB パワーグリッド社は、日立と ABB 社で合わせて約 250 年の歴史を持つグローバルテクノロジーリーダーであり、90 カ国で約 36,000 人の従業員を擁しています。スイス・チューリッヒに本社を置き、エネルギー、インダストリー、インフラ産業のバリューチェーンに加えて、モビリティ、スマートシティ、蓄電やデータセンターなどの新分野にも事業を展開しています。日立 ABB パワーグリッド社は、グローバルトップの導入実績やフットプリントを生かし、お客さまの社会的価値、環境価値、経済価値のバランスを向上させます。また、より強じん、よりスマート、よりクリーンなグリッドを実現するためのパートナーとして、革新的なデジタル技術により“Powering Good for Sustainable Energy”を実現していきます。

詳しくは、ウェブサイト(<https://www.hitachiabb-powergrids.com/jp/ja/>)をご覧ください。

■日立グループ パワーグリッドポータルサイト

<http://www.hitachi.co.jp/products/energy/pg/>

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
